

完成した井戸を使う人々



診療する山元先生



## NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

### ORMZ ニュース第 37 号 (H27.1.17)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (fax0985-54-5711) 文責：理事長 日高良雄



**はじめに** 平成 27 年となりました。皆様には良い新年を迎えられたことと思います。寒さが厳しく、インフルエンザも流行しています。くれぐれも体調管理に気をつけられ、手洗い、咳エチケットでインフルエンザの感染防止を図ってください。

さて、昨年は本当に多くの方からのご支援をいただきルアノ地区住民待望の飲料水確保のための井戸掘削ができました。しかもなんと 5 基も。心から感謝申し上げますと共に、今後ともご支援のほどよろしくお願いします。

### 会の経過報告

山元香代子先生もザンビアから日本に帰国され、現在、昨年 1 年間の活動のまとめ、会計処理を行っています。2 月には、理事会、定例総会を開催し、26 年の実績等をお示しできると考えています。

また、NPO 法人の認定申請ですが、最終段階となっており、次回のニュースではうれしいお知らせができるのではと考えております。

その認定に関係して会計処理のご協力をいただいた公認会計士の當房氏と 27 年から会計処理に関する契約を理事会承認の元、結ばせていただきましたので、ご報告します。

さて今回は、山元香代子先生ザンビア不在中の活動管理をお願いしています山本ひとみさんからの現地報告と浜松医科大学医学生の濱野聖菜さんの巡回診療同行報告をお伝えします。なお、濱野さんにはちょうど山元先生が体調不十分の時に、事務処理のご協力をいただきました。お礼申し上げます。

### 現地活動報告

#### ◎山本ひとみ様より

お疲れさまです。

雨期らしく雨が毎日降っておりますが、今日は陽がさしています。今週は雨がほとんど降らない、と天気予報。大統領選挙のキャンペーンはしやすいかもしれません。簡単ですが報告します。

@1月7日 Mwantyre 巡回診療 (車1台)

同行者：Mr.Muleta, Mr.Stunbeko, Mr.Sibandam Mrs.Chabulika

患者数：約 50 名 主な症状：咳、下痢、マラリア(出始めです)

診療を終えて帰ろうとしたとき、マンゴの木から落ちた 16 歳の男児がやってきました。太もも（骨折？筋肉損傷？）をけがしており、チペンビ・クリニックに搬送したそうです。

男児はビッグ・マンゴをとろうと高いところに登り、飛んできた虫を追い払おうとしてバランスを崩してしまい…落ちた、とのことでした。

#### @車両管理

・ボックス型：リムの交換、13日に部品交換・作業完了予定。14日は、車2台でルアノに行けそうです。

・バルーン型：がたがた道を走ると、かちゃかちゃ音がします。支え棒が見つかり次第、購入・修理する予定。タイヤまわり、しばらく注意が必要のようです。

@20日(火)は大統領選挙で祝日になります。21日の巡回診療準備は、19日にすませる予定です。

### ◎濱野聖菜様(浜松医科大学)のザンビア滞在報告

先日は、お忙しい中訪問させていただきありがとうございました。巡回診療のみならず、その背景の活動まで見学させていただき、とても貴重な経験となりました。

山元先生のもとを訪れる前は、実際に診療に行くとき以外の活動が、なかなかイメージがつかめなかったのですが、想像以上に様々な準備・報告作業がありました。私が見学させていただいた限りでも、薬の買出し・パッキング・在庫の数の調査・カルテからのデータの整理・車のメンテナンス・報告書の作成等。先生のいない3ヶ月分の準備・報告も含むと、膨大な仕事量になります。それらを全て、さらに私の知らない範囲の仕事もこなしていきながら、ほぼ週に1回のペースで巡回診療を行う先生の原動力にはとても驚かされました。

ルアノ地区の巡回診療は、ほかの方の感想文などを読み、心して出発したものの、最後のラフロードの道のりは衝撃的でした。途中で車のタイヤの部品をスタッフ全員で直したり、道端の木を斧で切り倒したり、水のある川を横切らなくてははいけなかったり、それらを初めて経験した私は、そのときはまるでアトラクションに乗っているような気分で興奮していましたが、毎回あの道を通って診療に行くことは、移動だけで大変な体力が消耗されるだろうと思います。

道の途中では、川で水を汲む女性と遭遇しました。川のほとりで穴をほり、滲みでてきた水をすくいます。バケツに注がれた水は、土色で非常に驚きました。その土色の水を飲み水として、大切そうに汲んで帰る姿を見て、ただ目の前の病を治療していただくだけではなく、その周りの環境も整えていくことが非常に大切なのだと強く実感させられました。先生の作った井戸もその一環であり、先生が車の中で、「医療を提供することも大切だけれど、教育が一番大切なのだと思う」と言ってくれたこともその一つなのだと思います。実際に井戸の周りでは、嬉しそうに水を汲んで飲む住民の姿がありました。井戸や巡回診療の周りは、診療に訪れた以外の住民も含めて沢山の人が集まって、とても賑わっていました。先生の取り組みがきっかけになって、住民の人たちが楽しく医療や安全な水にアプローチすることのできる場が作られていました。

私たちの車が診療の現場に到着すると、すでに大勢の人たちがいました。CHWの方以外にも巡回診療の時には毎回無償でお手伝いしているという何人もの人たちに会って、住民が山元先生をはじめ ORMZの皆さんを歓迎していることが非常に伝わってきました。初めて訪れた私にも沢山の人が笑顔で話しかけてくれ、



診療する山元先生



とても嬉しくなりました。

私が参加した日の巡回診療は、患者さんが少なかつたようですが、それでも診察室は沢山の住民の姿で賑わっていました。彼らを手際よく診察していきながら、一人ひとりにしっかりと向き合う山元先生の姿は、とても素敵でした。後日先生が、「聴診器を当てても分からないことも多いけれど、患者さんにきちんと向き合う姿勢が大切」とお話してくれましたが、先生の診療はまさにそのとおりでした。また当たり前のことですが、巡回診療では、症状を即時に判断し、処置を考える必要があります。これまで私は目の前の勉強をおろそかにして、先の将来



ばかりを見て悩んだりしてきましたが、まずはしっかりと医師としての力をつけなくてはと身を引き締められました。

ルアノからの帰りの車では、1組のお母さんと子どもが車に同乗しました。その小さな子どものために、山元先生が童謡や津軽海峡冬景色を歌い、車の中はとても盛り上がりました。先生の‘コミュニティーの人たちに笑顔になってほしい’という思いがとても伝わってきました。そういった診療でない部分も含めて、先生が地域の人たちを思いやる優しさがとても印象的で、私も将来ど

こで医師として働くことになっても、先生のような優しさを持った医師になりたいと強く思いました。

最後になりますが、お忙しい中お時間を割いていただき本当にありがとうございました。早く一人前の医師になることを目指して、これから精進していきます。今後もよろしくお願いいたします。

**賛助会費の納入について** 新しい年となりました。NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会の事業年度は1月から12月です。どうぞ賛助会費(一口5000円、一口以上)のご協力をよろしくお願いいたします。入金を確認しました際には、日高からその旨のメールを差し上げていますので、メール連絡が無い場合は問い合わせの連絡をお願いします。どうぞよろしくお願いいたします。

ゆうちょ銀行へ出かけていくことのご不便をおかけしていますが、今ホームページからカード決済で対応できるよう検討しています。その際はご連絡します。

また、銀行からWEBで振り込まれる際は、できましたら付加情報として住所、氏名(漢字)を加えていただくと対応しやすいです。よろしくお願いいたします。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号番号 01720-9-126351  
加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351  
加入者名：NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称(全角)：トクヒ) ザンビアノヘンチイリョウオシエンズルカイ (注：ヲ→オ)

平成27年もどうぞご支援のほどよろしくお願いいたします